

【総括表】

仙北市公共施設等総合管理計画
「個別施設計画」(文化施設)

1. 計画期間 平成28年4月1日から令和27年度まで

2. 対象施設名 本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とします。

施設名	所在地	基本的な方針	
中川コミュニティセンター	角館町川原中道	存続	機能維持のための修繕等実施
中川コミュニティセンター体育館	角館町川原中道	存続	機能維持のための修繕等実施
旧中川小学校プール	角館町川原中道	廃止	解体
角館交流センター	角館町上菅沢	存続	機能維持のための修繕等実施
角館東地区公民館	角館町外ノ山	部分廃止	体育館存続の検討
勤労青少年ホーム	角館町外ノ山	存続	機能維持のための修繕等実施
西長野交流センター	角館町西長野	部分廃止	10年後目途に体育館存続と譲渡の可能性検討
下延コミュニティセンター	角館町下延	譲渡検討	地元への譲渡検討
八割コミュニティセンター	角館町八割	譲渡検討	地元への譲渡検討
外町交流広場	角館町岩瀬町	存続	機能維持のための修繕等実施
雲沢集落センター	角館町雲然	存続	機能維持のための修繕等実施
白岩集落センター	角館町白岩	存続	機能維持のための修繕等実施
中川集落センター	角館町川原中道	除却	除却
旧白岩駐在所	角館町白岩	譲渡	地元への譲渡検討
就業改善センター	田沢湖神代	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢湖総合開発センター	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
市民会館	田沢湖生保内	存続	機能維持のための修繕等実施
旧田沢地区コミュニティホーム	田沢湖田沢	除却	機能を他施設に集約し、除却を検討
田沢交流センター(管理・教室棟)	田沢湖田沢	存続	機能維持のための修繕等実施
田沢出張所車庫(兼消防ポンプ置場)	田沢湖田沢	存続	機能維持のための修繕等実施
西木総合開発センター	西木町上荒井	存続	中央公民館機能へ

西木公民館	西木町門屋	除却	除却
桧木内地区公民館	西木町桧木内	廃止検討	他施設への機能集約を検討
多世代交流施設「山鳩館」	西木町上桧木内	廃止	他施設への機能移転を検討

3. 施設管理に関する基本的な方針

文化施設については、地域のコミュニティ機能の維持を目的に維持補修に努めますが、運動施設を併設する施設については、運動施設機能を残した規模縮小の可能性について検討を進めます。

また、類似する機能を持つ施設については、機能を一施設に集約し、老朽化が著しく維持管理費が嵩む施設は解体します。

地域の集落センターについては、地域への譲渡の可能性について協議を進めます。

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	角館市民センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	中川コミュニティセンター	延床面積	2,075 ㎡
所在地	角館町川原中道 41	建設年（耐用年数）	平成 6 年 1994（47 年）
複合施設名		経過年数	27 年
特記事項	※避難所指定 ※耐震化不要	構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

令和 2 年 3 月 31 日を以て閉校となった「中川小学校」を、同年 7 月 1 日から「中川コミュニティセンター」の名称で地域コミュニティ活動の拠点施設とした。施設に大きな欠陥もなく、小規模な修繕程度で維持できると考えられるため、引き続き管理していく。

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 47（今後 10 年以上使用）】

耐用年数も残っており、建物の状況も良好なため、使用年数を今後 10 年以上とする。

4 管理上の課題等

今後、施設の一部が経年劣化により修繕が必要となる事態が発生する心配がある。

5 管理に関する実施方針

- ・目標使用年数までは、機能維持のための修繕をしながら、適正な維持管理を図る。
- ・経年劣化への対応として、予防保全型管理の実施と、計画的な修繕による建物の長期利用を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	638	646	501	旧中川小学校体育館分含む
運用コスト	3,716	4,193	3,699	旧中川小学校体育館分含む
修繕コスト	866	1,224	8	旧中川小学校体育館分含む
その他			10,738	旧中川小学校冷房設備工事
(合計)	5,220	6,063	14,856	旧中川小学校体育館分含む

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				令和元年度まで小学校のため実績なし

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				令和元年度まで小学校のため実績なし

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	角館市民センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	中川コミュニティセンター体育館	延床面積	1,025 ㎡
所在地	角館町川原中道 4 1	建設年（耐用年数）	平成 6 年 1994（47 年）
複合施設名		経過年数	27 年
特記事項	※避難所指定 ※耐震化不要	構造・階数	鉄筋コンクリート 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」
 令和 2 年 3 月 31 日を以て閉校となった「中川小学校」を、同年 7 月 1 日から「中川コミュニティセンター」の名称で地域コミュニティ活動の拠点施設とした。施設に大きな欠陥もなく、小規模な修繕程度で維持できると考えられるため、引き続き管理していく。

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 47（今後 10 年以上使用）】

耐用年数も残っており、建物の状況も良好なため、使用年数を今後 10 年以上とする。

4 管理上の課題等

今後、施設の一部が経年劣化により修繕が必要となる事態が発生する心配がある。

5 管理に関する実施方針

- ・ 目標使用年数までは、機能維持のための修繕をしながら、適正な維持管理を図る。
- ・ 経年劣化への対応として、予防保全型管理の実施と、計画的な修繕による建物の長期利用を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				旧中川小学校校舎分に含む

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				令和元年度まで小学校 体育館のため実績なし

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				令和元年度まで小学校 体育館のため実績なし

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	角館市民センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	旧中川小学校プール	延床面積	494 m ²
所在地	角館町川原中道 74	建設年（耐用年数）	昭和 54 年（ 年）
複合施設名		経過年数	47 年
特記事項	※耐震化不要	構造・階数	鉄筋コンクリート 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	中川小学校が閉校となり、利用する機会がなくなったため。
<p>「基本的な方針の考え方」 令和元年度いっばいで中川小学校が閉校となったのに伴い、利用者もいなくなり、プールも老朽化して、維持管理にコストがかかるため、除却に向けて検討すべきと考える。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

プールは現在使用中止にしているが、雨水が溜まった場合の排水等で、電気料などの維持管理費が負担となっている。

5 管理に関する実施方針

解体をして、できるだけ早く除却するべきと考える。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4	解体実施設計	734	
R 5	除却工事	3,000	
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		3,734	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	45	47	49	
運用コスト	410	452	367	
修繕コスト	43	233	99	
その他				
(合計)	498	732	515	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

所管課（部署）	生涯学習課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市角館交流センター	延床面積	1,837 m ²
所在地	角館町上菅沢 77-30	建設年（耐用年数）	昭和 63 年 1988 年 (22 年)
複合施設名		経過年数	32 年
特記事項	※避難所指定	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面では良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	大規模改修を実施 機能維持
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>耐用年数を過ぎているものの、建物全体としては不良とまで言えない施設である。しかし、多目的ホール・ステージにある吊り物や照明が危険な状態であったり、キュービクル内高圧機器の更新及び改修等を要する箇所が多々ある。角館庁舎に隣接しており、今後も利用者の増加が見込まれるため、大規模改修を実施し、存続を図る。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化の検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携の検討は行っていない。

※ 民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 国・県協働の検討について

国・県協働の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

大規模改修を実施し、60 年（今後 28 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、建替の可能性も含めた検討をする。

4 管理上の課題等

- ・多目的ホール・ステージの吊り物や照明の保守点検を行った結果、落下の危険性が指摘された。
- ・キュービクル内の高圧機器が耐用年数を過ぎており、電気保安協会から停電の危険性が指摘されている。
- ・事務室や研修室のブラインドの紐が切れており、交換が必要である。

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、大規模改修も含め、吊り物や照明、トイレの改修やキュービクル内高圧機器の更新、床の貼りかえ、ブラインドの交換のほか、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	トイレ手洗い場修繕、PCB分析等	※310	実施済
R 3	トイレ修繕	158	
R 4	トイレ修繕、キュービクル内機器更新	9,156	
R 5	トイレ修繕、ブラインド交換	857	
R 6	トイレ修繕	136	
R 7	大規模改修	459,250	
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		469,867	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他	11,513	11,513	11,726	指定管理料
(合計)	11,513	11,513	11,726	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	42,159	38,270	37,702	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 12 日

所管課（部署）	角館公民館
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	角館東地区公民館	延床面積	4,678 m ²
所在地	仙北市外ノ山 11	建設年（耐用年数）	昭和 54 年 1979（47 年）
複合施設名		経過年数	41 年
特記事項	※避難所指定 ※耐震化未実施	構造・階数	RC・3 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	部分廃止	体育館のみ存続が可能か検討を進める。
「基本的な方針の考え方」 体育館は改修等により存続とし、他の施設機能は他施設に集約・複合化を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

周辺公共施設への機能集約化、複合化について検討を進める。

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 67 年】

体育館の改修工事による機能維持が可能かを検討する。

4 管理上の課題等

公共施設等総合管理計画・仙北市地域防災計画のほか、秋田県耐震改修促進計画（第 2 期計画）でも市町村指定避難所になっている施設であるが、体育館は屋根の雨漏りが著しく耐震補強等も未定であり、水道は飲料水としては不適で冷暖房もない。また、施設内外の面積が広く正規職員 2 人で維持管理・環境整備等を行うのが困難である。

5 管理に関する実施方針

体育館の改修工事による機能維持と併せ、管理棟部分の機能移転の可能性について調整を進め、管理棟部分の除却について検討する。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4	体育館屋改修工事	29,550	
R 5	駐車場舗装補修工事	1,300	
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		30,850	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	1,254	1,274	1,335	
運用コスト	2,458	3,783	4,175	H30～臨時職員雇用
修繕コスト	1,404	1,104	360	男女トイレ修繕等
その他	0	254	0	側溝蓋設置工事
(合計)	5,116	6,413	5,869	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	185	198	222	パソコン教室（ハローワーク離職者等再就職訓練）

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	20,912	18,242	10,924	R 元年野球場所管替

【個別票】

所管課（部署）	生涯学習課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市勤労青少年ホーム	延床面積	726 m ²
所在地	角館町外ノ山 19	建設年（耐用年数）	昭和 57 年 1982 年 (31 年)
複合施設名		経過年数	38 年
特記事項	※避難所指定	構造・階数	鉄骨構造 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	大規模改修含む維持管理を継続、公民館機能集約の可能性を検討
<p>「基本的な方針の考え方」 建物の老朽化が著しい状況にあるが、利用者数や稼働率から見ても、隣接するテニスコートを含め、体育施設としての機能の維持は必要である。 また、将来的に公民館的機能の集約化の可能性について、並行して検討を進める。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

周辺の体育施設・集会施設等との集約を検討する。

※ 公民連携の検討について

公民連携の検討は行っていない。

※ 民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 国・県協働の検討について

国・県協働の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

周辺の施設と集約されなかった場合には、耐用年数を過ぎているため、大規模改修を実施し、60 年（今後 22 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、建替について検討する。

4 管理上の課題等

<ul style="list-style-type: none"> ・軽運動室の内壁が雨漏りにより腐食しているため改修が必要となるが高額となる。 ・和室にエアコンの設置を検討する。 ・避難所に指定されているため、多機能トイレの改修を行う。

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、大規模改修も含め、冷房設備設置、多目的トイレ改修のほか、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	軽運動室屋根改修 (防水) 工事	※3,729	実施済
R 3	玄関モルタル補修、玄関証明設置工事	120	
R 4	大規模改修		
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			※60年目
R 26			
R 27			
合 計		3,849	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他	4,303	4,303	4,303	指定管理料
(合計)	4,303	4,303	4,303	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	8,597	8,851	8,577	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	角館市民センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	西長野交流センター	延床面積	2,868 m ²
所在地	角館町西長野中泊 402	建設年（耐用年数）	平成 3 年 1997（47 年）
複合施設名		経過年数	29 年
特記事項	※避難所指定 ※耐震化不要	構造・階数	鉄筋コンクリート 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好でないが、ソフト面は良好な施設
基本的な方針	部分廃止	部分廃止後、譲渡を含めた検討をする
<p>「基本的な方針の考え方」 体育館の使用頻度が高く、修繕を継続しながら存続していく。 旧校舎の部分については、10 年後を目途に部分廃止を検討し、その後、譲渡についても検討する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 40 年】

体育館の使用頻度が高く、修繕をしながら今後 10 年以上使用する。 旧校舎の部分については、10 年後を目途に廃止を検討する。
--

4 管理上の課題等

屋根の損傷が激しく、施設内の所々で雨漏りが発生しており、屋根の改修が必要となる。
--

5 管理に関する実施方針

当面は、適切な維持管理に努めながら、施設のあり方について地域を含め検討を進める。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5	体育館棟の屋根修繕	20,000	
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		20,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	767	799	801	
運用コスト	1,594	1,694	1,482	
修繕コスト	2,765	1,176	306	
その他	3,382	7,925		平成 30 年度消防用設備等改修工事施工
(合計)	8,508	11,594	2,589	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	5,140	6,703	6,470	

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	角館市民センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	下延コミュニティセンター	延床面積	505 ㎡
所在地	角館町下延段添 198	建設年（耐用年数）	平成 2 年 1990（22 年）
複合施設名		経過年数	31 年
特記事項	※避難所指定 ※耐震化不要 ※指定管理	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好でないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	譲渡検討	今後、10 年後を目途に地域への譲渡を検討
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>耐用年数を経過しているが、施設に大きな欠陥もなく、小規模な修繕程度で維持できると考えられるため、引き続き指定管理者制度を活用して管理していく。</p> <p>今後、10 年後を目途に地域への譲渡を検討していく。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 41 年】

<p>建物の耐用年数を超過しているが、建物の状況をみると十分に使用できることから、使用年数を今後 10 年以上とする。目標使用年数経過後は、建物の状況や利用者数を見ながら、以後の方針を決定する。</p>

4 管理上の課題等

<p>大きな欠陥もなく健全であるが、耐用年数を超過しているため、今後は経年劣化による建物や設備の損傷等が懸念される。</p>
--

5 管理に関する実施方針

<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標使用年数までは、機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理を図る。 ・ 経年劣化への対応として、予防保全型管理の実施と、計画的な修繕による建物の長期利用を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	889	889	905	指定管理料
(合計)	889	889	905	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	813	995	1,065	下延農村公園分含む

【個別票】

更新日：令和 3 年 1 月 15 日

所管課（部署）	角館市民センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	八割コミュニティセンター	延床面積	185 m ²
所在地	角館町八割西ヶ沢 195	建設年（耐用年数）	平成 8 年 1996（22 年）
複合施設名		経過年数	24 年
特記事項	※避難所指定 ※耐震化不要 ※指定管理	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好でないが、ソフト面は良好な施設
基本的な方針	譲渡検討	今後、10 年後を目途に地域への譲渡を検討する。
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <p>耐用年数を経過しているが、施設に大きな欠陥もなく、小規模な修繕程度で維持できると考えられるため、引き続き指定管理者制度を活用して管理していく。</p> <p>今後、10 年後を目途に、地域への譲渡を検討する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 34 年】

建物の耐用年数を超過しているが、建物の状況をみると十分に使用できることから、使用年数を今後 10 年以上とする。目標使用年数経過後は、建物の状況や利用者数を見ながら、以後の方針を決定する。
--

4 管理上の課題等

FF 式暖房設備器具が老朽化し、更新が必要となってきた。

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までには、暖房設備の更新等、必要最小限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3	FF 式暖房設備器具の更新 (1 台)	266	
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		266	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	103	103	103	指定管理料
(合計)	103	103	105	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	409	310	373	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 26 日

所管課（部署）	商工課
---------	-----

1 施設の概要・沿革

施設名称	外町交流広場	延床面積	145 ㎡
所在地	角館町岩瀬町 10	建設年（耐用年数）	平成 20 年 2008（50 年）
複合施設名		経過年数	12 年
特記事項	存続	構造・階数	鉄筋コンクリート・1F

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハート面、ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持
<p>「基本的な方針の考え方」 角館地区中心市街地活性化と観光交流サービスの向上のための施設として、まちづくり交付金を活用して設置。 施設管理は指定管理者制度を適用し、NPO 立町商店会が行っている。修繕して存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 50 年】

地域住民、NPO 立町商店会と協議のうえ、目標使用年数を設定する必要があるが、耐用年数を目標とする。
--

4 管理上の課題等

適切な管理と運営が行われており、特に課題等はない。

5 管理に関する実施方針

・必要最小限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	2,150	2,150	2,190	指定管理料
運用コスト	22	22	23	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	2,172	2,172	2,213	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	45,404	38,289	40,255	

【個別票】

更新日：令和3年1月18日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	雲沢集落センター	延床面積	581 m ²
所在地	角館町雲然田中 437-13	建設年（耐用年数）	S59 1984（47年）
複合施設名		経過年数	36年
特記事項	避難所指定	構造・階数	鉄筋コンクリート・2F

※経過年数は令和2年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	存続	機能維持。地域に同機能施設がなく存続が必要

「基本的な方針の考え方」
 建築後 30 年を経過しているが、耐用年数経過前で比較的良好な状態にあり、農林業の振興及び農業団体育成保護のため今後も必要な施設であることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続させていく。

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 47 年】

建物の耐用年数以上使用することを目標とし、目標使用年数経過後は、建物の状態や利用状況を見ながら以後の方針を決定する。

4 管理上の課題等

屋根の老朽化により、応急修繕により機能維持をしているが、建物自体は健全である。しかし、開錠・施錠の管理人の選定に苦慮している。

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最小限の修繕を実施し、建物を維持する。
 地域活性化拠点施設であり、基本的に耐用年数以上の利用を目標とする。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	屋根修繕工事 屋根東面 2 階屋根軒先修繕	627 499	
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		1,126	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	197	197	199	
運用コスト	1,952	1,952	2,360	
修繕コスト	72	72	0	
その他	0	0	1,126	
(合計)	2,221	2,221	3,685	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	5,712	3,716	4,039	

【個別票】

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	白岩集落センター	延床面積	464 m ²
所在地	角館町白岩上西野 123	建設年（耐用年数）	S45 1975（47年）
複合施設名		経過年数	45年
特記事項	避難所指定	構造・階数	鉄筋コンクリート・2F

※経過年数は令和2年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	存続	機能維持。地域に同機能施設がなく存続する

「基本的な方針の考え方」

建築後40年を経過しているが、耐用年数経過前で比較的良好な状態にあり、農林業の振興及び農業団体育成保護のため今後も必要な施設であることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続させていく。

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 48年】

建物の耐用年数以上使用することを目標とし、目標使用年数経過後は、建物の状態や利用状況を見ながら以後の方針を決定する。
--

4 管理上の課題等

外壁の老朽化が進んでおり、大規模な修繕が望ましい。建物自体は健全である。しかし、開錠・施錠の管理人の選定に苦慮している。
--

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最小限の修繕を実施し、建物を維持する。 地域活性化の拠点施設であり、基本的に耐用年数以上の使用を目標に機能維持を図る。
--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	10	10	10	
運用コスト	631	720	639	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	641	730	649	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	36	34	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	1,371	1,169	1,254	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 22 日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	中川集落センター	延床面積	488 ㎡
所在地	角館町川原中道 6 6	建設年（耐用年数）	S53 1978（38 年）
複合施設名		経過年数	42 年
特記事項	避難所指定	構造・階数	鉄筋コンクリート造・2F

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	除却と併せ譲渡について協議を継続する
<p>「基本的な方針の考え方」 令和 2 年 6 月末、旧中川小学校へ機能移転し施設の譲渡を目的に協議してきたが、アスベスト含有が疑われ協議が頓挫している。引き続き譲渡に向けた対応と協議を継続する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

今後、引き続き民間への有償譲渡について、関係部署と協議をすすめる。

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

--

4 管理上の課題等

--

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	317	317	0	
運用コスト	715	715	232	
修繕コスト	275	248	0	
その他	0	0	0	
(合計)	1,307	1,280	232	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	3,409	2,300	1,952	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	管 財 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	旧白岩駐在所	延床面積	81 m ²
所在地	仙北市角館町白岩上西野 123-2	建設年（耐用年数）	昭和 62 年 1987 年 (24 年)
複合施設名		経過年数	33 年
特記事項	平成 24 年県より譲渡	構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅲ型	ハード面は良好だが、ソフト面が良好でない施設
基本的な方針	廃止	地域への譲渡を検討
<p>「基本的な方針の考え方」 現在、民間団体（白岩陶芸組合）に無償貸付けし利用を継続している。施設に係る維持管理費及び補修費等も団体で行っており、譲渡の方向で検討する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

現在使用している民間団体と譲渡に向けた検討を行う。

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 36 年】

譲渡に向けた検討の期間を 3 年とする。

4 管理上の課題等

現在のところ、問題は何もない。

5 管理に関する実施方針

--

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	就業改善センター	延床面積	1,014 m ²
所在地	田沢湖神代字古館野 404-1	建設年（耐用年数）	S53 1978（47年）
複合施設名		経過年数	42年
特記事項	避難所指定	構造・階数	鉄筋コンクリート造・2F

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好でないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討

「基本的な方針の考え方」
 補助事業等を活用し、外壁工事をしている。建築後 40 年を経過しているが、農林業の振興及び農業団体育成保護のため今後も必要な施設であることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続させていく。

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 52 年】

建物の耐用年数以上使用することを目標とし、目標使用年数経過後は、建物の状態や利用状況を見ながら以後の方針を決定する。

4 管理上の課題等

施設全体が老朽化しているため、利用者のニーズに対応した修改善等が必要である。

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最小限の修繕を実施し、建物を維持する。
 利用率が高いため、利用者の要望に応えながら機能維持していく。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	受水槽取替工事 防災連動制御盤修繕 浄化槽蓋交換修繕	7,238 152 99	
R 3	調理室内装工事	—	
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		7,489	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	250	250	250	
運用コスト	7,251	7,374	7,524	
修繕コスト	33	9	426	
その他	0	0	0	
(合計)	7,534	7,633	8,200	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	1,367	1,130	1,246	利用料・JA 負担金

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	17,208	17,362	14,617	

【個別票】

更新日：令和3年1月18日

所管課（部署）	農業振興課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢湖総合開発センター	延床面積	1,452 m ²
所在地	田沢湖生保内字宮ノ後 27	建設年（耐用年数）	S49 1974（47年）
複合施設名		経過年数	46年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート造 2階建

※経過年数は令和2年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好な施設
基本的な方針	存続	機能維持。地域に同機能を有する施設がないため

「基本的な方針の考え方」

田沢湖生保内地区における市民活動の拠点として中核の施設となっている。産業及び社会の開発並びに市民の健康及び福祉の増進に寄与するため必要な施設であり、機能維持のための修繕を実施しながら存続させていく。

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 56 年以上】

今後1年で耐用年数を迎えることになるが、機能維持のための修繕を実施しつつ、今後10年以上は建物を使用する。目標使用年数経過後は、建物の状況や利用者数を見ながら以後の方針を決定する。

4 管理上の課題等

建物の老朽化が進行。間もなく耐用年数を迎えるが、今後、存続させていくためには大規模改修（耐震補強）が必要であり、多額な費用が必要となる。

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは、必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額（千円）	備考
R 2			
R 3			
R 4	耐震補強工事	1,000	
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		1,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	43	32	43	
運用コスト	5,983	6,233	6,504	
修繕コスト				
その他				
(合計)	6,026	6,265	6,547	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	62	59	59	会議室利用料 自販機設置料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	25,012	23,686	19,524	

【個別票】

所管課（部署）	生涯学習課（市民会館）
---------	-------------

1 施設の概要・沿革

施設名称	仙北市民会館	延床面積	2,803 m ²
所在地	田沢湖生保内字武蔵野 105-1	建設年（耐用年数）	昭和 55 年 1980（47 年）
複合施設名		経過年数	40 年
特記事項	※避難場所指定	構造・階数	鉄筋コンクリート 3 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面・ソフト面とも改善の検討を要する
基本的な方針	存続	機能維持
<p>「基本的な方針の考え方」 市の芸術文化向上の一翼を担う施設として、広く市民に親しまれ楽しんでいただくために、建物や設備の計画的な修繕・更新を実施しながら、長寿命化に努める。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

平成 26 年から 27 年にかけて、事務事業移転室を中心に指定管理者制度を検討したが、各種設備機器の更新が必要という結論で断念。

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

今後 7 年で耐用年数を迎えるが、必要最小限の修繕を実施し 60 年以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、大規模改修等存続について検討する。

4 管理上の課題等

各種設備機器の更新時期が近い又は超えているものもあり、早急な対応が必要だが、それぞれが高額なため未実施個所が多い。
現状、専任職員が 1 人のみの配置となっており、管理運営上 2 人以上の専任職員が望ましい。

5 管理に関する実施方針

各種設備については、令和 3 年度を検討期間とする活性化委員会を軸とした改修検討会議を開催し、多機能型フリースペースや親子休憩室、座席数の削減等の改修に併せて、老朽化した内部設備の更新や修繕を実施する基本構想計画を策定する予定。財源については、地方創生拠点整備交付金を見込んでいる。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	地下重油タンク FRP ライニング施工 修繕、非常用自家発電設備修繕等	2,660	完了済
R 3	市民会館改修 基本構想	350	
R 4	市民会館改修 実施設計		※未定
R 5	市民会館改修 改修工事		※未定
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			※耐用年数
R10			
R11			
R12			
R13			
R14			
R15			
R16			
R17			
R18			
R19			
R20			
R21			
R22			
R23			
R24			
R25			
R26			
R27			
合 計		3,010	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	5,171	5,339	5,240	主に保守点検
運用コスト	17,534	18,743	19,819	舞台管理委託、光熱水費等
修繕コスト	3,646	4,642	928	各種設備修繕
その他 (改修・更新等)	611	0	0	スフリンクラー警報装置等
その他 (備品購入)	1,038	942	44	電球、マイク等
(合計)	28,000	29,666	26,031	※千円以下切捨

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	343	96	185	設備使用料
利用料収入	29	26	25	自動販売機設置

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	14,477	8,590	6,994	JA は H29 まで
催事回数	133	124	166	コース練習等含

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	管 財 課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	旧田沢地区コミュニティホーム	延床面積	495 ㎡
所在地	田沢湖田沢字高屋 151	建設年（耐用年数）	昭和 50 年 1975（34 年）
複合施設名		経過年数	50 年
特記事項		構造・階数	鉄骨造 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止	除却に向けた地域との話し合いを継続する。
<p>「基本的な方針の考え方」 地域の交流の場としての利用がされているが、地域のコミュニティの拠点としては、田沢交流センターがその役割を担うことは十分可能であり、施設は除却し田沢交流センターに集約する方向で検討したい。 ※「むらの喫茶店たざわ」無償貸付け：毎週火・土 2 日間営業 10：30～14：30</p>		

※ 集約・複合化の検討について

田沢交流センターとの集約を図る。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 55 年】

除却に向けた方針を地域と議論する期間を 5 年とする。

4 管理上の課題等

5 管理に関する実施方針

5 年を目途に適切な管理を行う。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	3	3	3	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	3	3	7	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	—	—	—	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	田沢出張所
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢交流センター（管理、教室棟）	延床面積	1,932 m ²
所在地	田沢湖田沢字大山 7	建設年（耐用年数）	昭和 55 年 1980（47 年）
複合施設名		経過年数	41 年
特記事項	※避難所指定 出張所併設	構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕（大規模改修）を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」 出張所、公民館、集会所等田沢地域の重要な複合施設である。 機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

幼稚園、小中学校がなくなり、田沢地区の歴史が分かるような資料館的な役割を検討する。

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

機能維持の修繕を実施しながら 60 年（今後 19 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。

4 管理上の課題等

給排水設備が老朽化し改修が必要となる可能性がある、天井、床下配管のため同改修は大規模、高額となる。

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	603	618	678	
運用コスト	6,233	6,558	6,626	
修繕コスト	111	134	72	トイレ床排水、屋上煙突屋根、玄関出入口戸車 等
その他	0	1,675	0	玄関屋根防水シート改修
(合計)	6,947	8,985	7,376	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	65	64	8	使用料、自動販売機設置料、電気料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	4,452	3,032	1,940	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	田沢出張所
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	田沢出張所車庫（兼消防ポンプ置場）	延床面積	46.27 m ²
所在地	田沢湖田沢字大山 7	建設年（耐用年数）	平成 17 年 2005（17 年）
複合施設名		経過年数	16 年
特記事項		構造・階数	木造 1 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ハード面・ソフト面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施・検討
<p>「基本的な方針の考え方」 積載車が入っており、消防活動の重要拠点であるため、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 30 年】

機能維持の修繕を実施しながら 30 年（今後 14 年）以上の使用を目標とする。目標使用年数経過後は、その後の存続等について検討する。

4 管理上の課題等

特になし。

5 管理に関する実施方針

目標使用年数までは必要最低限の修繕等を実施し、適正な維持管理を図る。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 22 日

所管課（部署）	西木市民センター
---------	----------

1 施設の概要・沿革

施設名称	西木総合開発センター	延床面積	905.0 m ²
所在地	西木町上荒井字古堀田 47	建設年（耐用年数）	昭和 50 年 1975（47 年）
複合施設名		経過年数	45 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階建て

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	ハード面は良好ではないが、ソフト面が良好
基本的な方針	存続	他施設の機能を集約する
「基本的な方針の考え方」 令和 3 年度から仙北市中央公民館として活用される。		

※ 集約・複合化の検討について

--

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

耐用年数を考慮しながら、ハード機能維持等の修繕を図りながら、今後 10 以上の使用を検討する。

4 管理上の課題等

小破修繕は見込まれるが、特段の課題等は現時点では想定していない。

5 管理に関する実施方針

適切な維持補修により、目標使用年数以上の利用を目指す。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	1, 048	1, 533	2, 513	
運用コスト	2, 547	2, 478	2, 414	
修繕コスト	432	8, 674	365	
その他				
(合計)	4, 027	12, 685	5, 292	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数				

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	西木公民館
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	西木公民館	延床面積	671.0 m ²
所在地	西木町門屋字漆原 89-2	建設年（耐用年数）	昭和 43 年 1968 年（50 年）
複合施設名		経過年数	53 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設	
基本的な方針	廃止	R3.3.31 で施設閉鎖 除却予定	
「基本的な方針の考え方」 R3 年 4 月 1 日より、西木庁舎に移転。その後除却。			

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 年】

R3 年 3 月 31 日 迄。

4 管理上の課題等

5 管理に関する実施方針

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	2,725	2,578	2,562	
運用コスト	1,639	1,787	1,776	
修繕コスト				
その他				
(合計)	4, 364	4, 365	4, 338	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	45	51	72	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	5,654	5,826	5,683	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	西木公民館
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	桧木内地区公民館	延床面積	529.0 m ²
所在地	西木町桧木内字松葉290-1	建設年（耐用年数）	昭和 43 年 1968 年（50 年）
複合施設名		経過年数	53 年
特記事項		構造・階数	鉄筋コンクリート 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ型	施設は 53 年経過しているが、地区住民の利用度も高い。
基本的な方針	廃止検討	機能移転の可能性を検討
「基本的な方針の考え方」 他施設への機能移転について検討を進める。		

※ 集約・複合化の検討について

地域全体の公共施設についての機能集約化について検討を行う。

※ 公民連携の検討について

--

※ 民間等への譲渡の検討について

--

※ 国・県協働の検討について

--

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

機能移転の議論を 7 年以内とし、この期間は適切な管理に努める。

4 管理上の課題等

2 階の集会室に冷房設備がなく、夏場は何をするにもかなり暑くエアコンの設置を検討する。

5 管理に関する実施方針

当面、適切な維持管理に努める。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2			
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	2,709	2,710	2,718	
運用コスト	710	716	728	
修繕コスト	0	43	65	
その他				
(合計)	3,419	3,469	3,511	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	24	17	17	

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	1,967	2,362	2,356	

【個別票】

更新日：令和 2 年 10 月 23 日

所管課（部署）	長寿支援課
---------	-------

1 施設の概要・沿革

施設名称	多世代交流施設 山鳩館	延床面積	1,701 m ²
所在地	西木町上桧木内字大森 37	建設年（耐用年数）	昭和 42 年 1967 （ 22 年）
複合施設名		経過年数	53 年
特記事項		構造・階数	木造 2 階

※経過年数は令和 2 年度末現在

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV型	ハード面、ソフト面とも改善の検討を要する施設
基本的な方針	廃止検討	他施設との統合を検討
<p>「基本的な方針の考え方」 平成 11 年より多世代交流施設山鳩館として利用している。 老朽化が著しく長く存続するためには大規模な改修を要するため、他施設への機能移転の方向で検討する。</p>		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等への譲渡の検討について

※ 国・県協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 63 年】

今後 10 年以内を目途に他施設への機能移転を目指す。

4 管理上の課題等

施設の老朽化により屋根の改修が必要となっているが、改修は高額となる。また、旧保育所部分については、今後の利用等について検討する必要がある。

5 管理に関する実施方針

機能移転まで安全を確保しながら、適切な維持管理に努める。

6 管理に関する実施計画

年度	修繕等の内容	概算額 (千円)	備考
R 2	山鳩館事務室側屋根塗装及び修繕	502	
R 3			
R 4			
R 5			
R 6			
R 7			
R 8			
R 9			
R 10			
R 11			
R 12			
R 13			
R 14			
R 15			
R 16			
R 17			
R 18			
R 19			
R 20			
R 21			
R 22			
R 23			
R 24			
R 25			
R 26			
R 27			
合 計		502	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、人)

【支出】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
保守コスト	453	426	454	
運用コスト	1,597	1,363	1,595	光熱水費等
修繕コスト				
その他				
(合計)	2,050	1,789	2,049	

【収入】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用料収入	172	150	187	生きがい通所利用料・調理室使用料

【利用者等】	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備考
利用者数	571 人／24 回	504 人／19 回	586 人／22 回	通所／調理室